



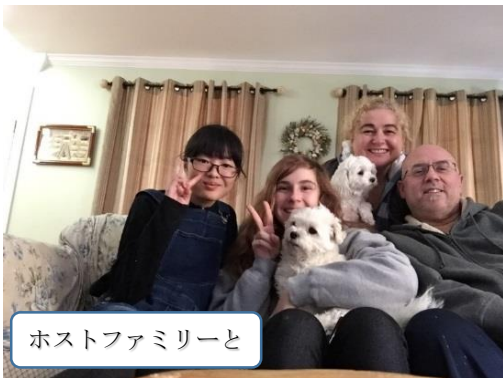
「海外研修報告書」

七飯中学校 2年 阿部 光玖

私は小さい頃から海外に興味がありました。町内の中学校には海外派遣というのがあると知って私にもチャンスがあると思い、姉妹都市であるアメリカ・コンコード町について勉強しました。派遣が決まった時は、今までにないくらいのうれしさに頭がいっぱいになりました。

10月29日(月)

初めての海外へ。緊張よりも楽しみの方が大きいですが、これからアメリカに行くという実感がなく、よくわからない気持ちで家族と別れました。気が付くと外はボストンの街で輝



ホストファミリーと

いていました。コンコードカーライル高校で、ホストファミリーになるラーナー家と久しぶりに会いました。半年ぶりの再会でしたが、すぐに会話をすることができました。お土産をあげるととても喜んでくれてうれしかったです。私もたくさんのアメリカのお土産をもらいました。

その日の夜は疲れていたのに時差ボケで寝ることができませんでした。

10月30日(火)

コンコードの朝はすごく静かでひんやりしており、気持ちのいい1日がスタートしました。高校には大きく、想像していたよりたくさんの教室があり、驚きでいっぱいでした。キャサリンの友達みんなフレンドリーに接してくれて、すぐに仲良くなることができました。机に立ったり教室を出て行ったりと、自由なアメリカならではの授業風景に最後まで慣れることができませんでした。すごく楽しかったです。

放課後はコンコードの町を散策しました。特に印象に残っているのは、ピザが日本の3倍はあるのではないかと思うほどの大きさで、1ピースも食べるできませんでした。この日はたくさんの人と触れ合い、スピーキング力の向上に努めた日だったと思います。

10月31日(水)

待ちに待ったハロウィーン。朝から仮装をして学校に向かうと、生徒や先生たちも仮装をしていて驚きました。当日は学校が運営しているラジオに参加させてもらいました。ラジオへの初めての出演、そして英語で話さなければならない状況にとっても緊張していましたが、コンコードカーライル高校のみなさんが親切に教えてくれたおかげで落ち着いて話すことができました。

コンコードにあるオールドノースブリッジは学校の教科書に載っており、何度も見たことがある橋に来ていると思うと、すごく新鮮な気持ちになりました。

セーラムでは、魔女狩りについて知ることができました。周りも魔女の仮装をしている人はあまりいませんでした。

夜にみんなでコンコードを見て回り、たくさんのキャンディーをもらいました。一緒に回ったホストシスターが急に知らない人の家でクリスマスソングを歌い、その家の人もつられて歌っているのを見ていると、コンコードの人たちは本当にフレンドリーで心が広いなと思いました。この日は念願のハロウィーンを体験できて良い思い出になりました。

11月1日(木)

この日はドッチボールをアメリカ版と日本版どちらもやりました。体育館では音楽が流れて、歌ったり踊ったりしながらドッチボールをするという、現地ならではのやり方でとても楽しかったです。日本のドッチボールも楽しんでもらうことができたので良かったです。

カフェテリアでのワークショップでは、たくさんの方が来てくれました。私は書道の担当でした。英語でわかりやすく説明するのはとても大変でした。他にも折り紙や味噌汁を作り、喜んでもらえてうれしかったです。

テレビ出演はとても緊張し、英語で自分が言いたいことを表現することは難しかったのですが、英単語を繋げて話すことで気持ちを伝えることができました。なかなかできない体験をすることができたのでよかったです。

放課後はキャサリンが出る音楽発表会に出席しました。音楽発表会といっても、振り付けがあり、観客も踊っていて素晴らしかったです。この日はとても忙しかったのですが、たくさんのことを体験することができ、アメリカの文化を知ることができました。

11月2日(金)

学校ラストということもあり、少し寂しい気持ちで登校しました。訪問団のみなでボストンに行きました。久しぶりにみんなと会ってホッとしました。とても楽しみにしていたハーバード大学では、ジョン・ハーバード像の足を触り学力向上。訪れた人みんなが触るので、足の部分だけ色が取れていました。感激でいっぱいになりました。

放課後はショッピングモールに連れて行ってもらいました。買い物をしている間、私が見る限り、ほとんどの人はカードでお会計を済ませていました。中でも、小学生くらいの子が自分のカードを持っていて驚きました。この日は私がアメリカでやってみたいことができ、夢のようでした。

1 1月3日(土)

まだ時差ボケが治らず、朝の10時に起きました。今日はポットラックパーティーに参加しました。家の大きさに圧倒されながらも、楽しむことができました。集まった人たちでイカ踊りをしました。最後まで笑顔で踊っていて、楽しんでくれたので良かったです。その後、2時間くらいかけてホストファミリーの別荘に行きました。もう暗くて、周りが見えなかったのでキャサリンと映画を観て、たくさんのお話をしました。この日はコンコードの方々が本当に親切にしてくれて感謝でいっぱいになりました。

1 1月4日(日)

ホストファミリーと一緒に過ごす最後の1日でした。キャサリンに島を案内してもらい、ショッピングをしたり、ロブスターを食べたり、島を満喫しました。

コンコードに帰る前にホストマザーとお別れをしました。また遊びにおいでと言われた時、涙が出そうになりました。この日1日過ごしたことで、日常会話がまだ足りないことがわかりました。これからの課題を見つけることができた日でした。



島の絶景スポット！

1 1月5日(月)

朝早くからホストファミリーは見送りに来てくれました。別れるときにもう一度会うという約束をすることができました。別れるのは悲しかったけど、笑顔で手を振り返しました。

バス移動の末、最先端のニューヨークに着きました。最初にトップ・オブ・ザ・ロックの展望台に登りました。周り全てがビルで、この展望台以上に大きな建物もたくさんあり、



タイムズスクエア

驚きました。よく生中継をやっているロックフェラーセンター前のスケートリンクにも行きました。テレビで何度も見たことがある光景にテンションが上がりました。一度は行ってみたいと思っていたタイムズスクエアにある電光掲示板を見たとき、夜なのに朝みたいで不思議な感じでした。サイレンの音、人々の話し声、さすがアメリカだと思いました。

1 1月6日(火)

もう一つ、一度は行ってみたいと思っていた場所、自由の女神像を見に行きました。なかなか見ることのできない自由の女神像の後ろ姿は足が少し浮いていました。新たな発見ができてよかったです。

国連では、会議をしているところを見ることができました。スタッフの方の説明をなかなか理解することができなく、もっと英語の勉強をしなければいけないと思いました。バスを走っている途中、映画の撮影がいたるところで行われていてすごかったです。

1 1月7日(水)～9日(金)

アメリカで目覚めるのはこれが最後。もう飛行機に乗って日本に帰ると考えるとすごく嫌で、もっとアメリカで過ごしたいと思いました。しかし、日本に着くと日本語で溢れる空間がとてもうれしくて、アメリカは最高だけど日本は大好きなんだなと感じました。

研修を終えて

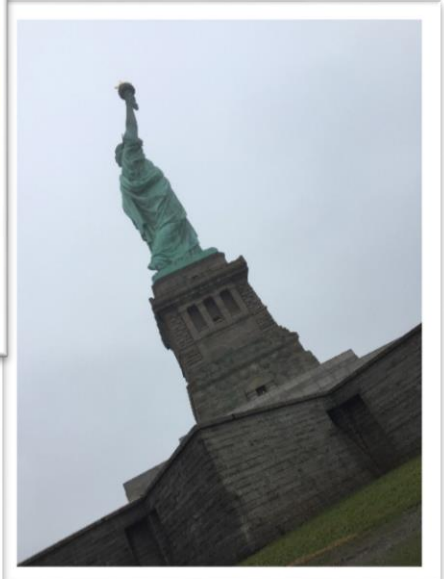
私はこの研修を通して学んだことはたくさんあります。その中でも自己主張の大切さを知ることができました。そして、たくさんの刺激を受けて帰ってきた今は、この体験を生かし、未来に繋げていきたいです。

最後に、今回の海外派遣に関わった全ての方々に改めて感謝します。このような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

イカ踊り楽しかった！



AMERICAN
TRAINING
12DAYS



足が少し浮いている))



運良くカーテンが開いていた！！



Zombie and 魔女

CONCORD
NEW YORK
THE BEST !